

JP2001054046

Publication Title:

MEMENTO OF WEDDING CEREMONY AND ITS PRODUCTION METHOD

Abstract:

Abstract of JP 2001054046

(A) PROBLEM TO BE SOLVED: To edit and record the scenes of a wedding ceremony in a short time by synthesizing ceremonial hall information and 3rd party information and using a personal computer to configure the synthesized information as a series of reproducible wedding ceremony information. SOLUTION: A personal computer 20 stores contents recorded in a digital recording means 12 at the same time when a ceremony proceeds to conduct production of a wedding ceremony memento 10. The personal computer 20 is installed in a wedding ceremony hall 30. The hall 30 is provided with front seats 31 on which a bride and a bridegroom take a seat and with invitation seats 32 on which invited guests take a seat.; A plurality of digital video cameras 35 is installed in the inside of the hall 30 and converts the scenes of the hall 30 into an image and an audio signal, and transmits them to a digital receiver 23 by means of a radio wave. The digital receiver 23 copies them to the digital recording means 12, a printer 28 prints out the image in color and the prints are placed in a decoration box 11, which is delivered as the wedding ceremony memento 10 on the day of the wedding ceremony. Thus, the concerned people can view the reproduction of the ceremony before the excited condition of the wedding ceremony begins to cool down.

Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

| (S1) Int.Cl. ¹ | 識別記号 | F 1 | 「ロー」(参考) |
|---------------------------|--------|---------|----------|
| H 0 4 N | 5/76 | H 0 4 N | 5/76 |
| G 1 1 B | 27/034 | | 5/91 |
| H 0 4 N | 5/91 | G 1 1 B | 27/02 |

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 4 頁)

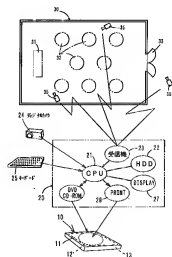
| | | | |
|-----------|------------------------|----------|--|
| (21) 出願番号 | 特願平11-200996 | (71) 出願人 | 599129937 株式会社ユニオンサポート 静岡県浜松市松小池町160番地 |
| (22) 出願日 | 平成11年8月10日 (1999.8.10) | (72) 発明者 | 平野 明弘 静岡県浜松市松小池町160番地 |
| | | (73) 発明者 | 大川 哲 静岡県浜松市子安町320番地の16 |
| | | Fターム(参考) | 5C052 A01 A02 A16 A910 D004 5C053 F008 F114 Fx23 F124 K24 L001 L003 L406 L411 5D110 A04 A126 A128 B823 C005 C006 C118 C201 C016 C711 C713 |

(54) 【発明の名称】 結晶式記念品とその制作方法

(57) 【要約】

【課題】従来、結晶式の様子を記録する媒体として使用されるビデオテープに代え、画像や記録が短時間に行える媒体を得んとするものである。

【課題解決手段】結晶当事者の過去の行動を主として記す電子画像からなる場外情報と、結晶当事者の式場における挙動を記した電子画像を主とする式場情報、および結晶当事者以外の第三者の式場における行動を記した電子画像を主とする第三者情報とを合成し、一連の結晶式情報として構成した画像情報を包含する記録媒体を制作することである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】結婚当事者の過去の行動を主として記した電子画像を含む場外情報と、結婚当事者の式場における挙動を主として記した電子画像を含む式場情報、および結婚当事者以外の第三者の式場における行動を主として記した電子画像を主とする第3者情報とを合成し、パズルによって再生可能な一連の結婚式情報として構成した映像情報を含む記録媒体からなり、結婚式当日に配給する結婚式記念品。

【請求項2】結婚式に先立って結婚当事者の過去の行動を主として記した電子画像を含む場外情報を準備し、式場において時間的に継続して得られる当事者の式場情報をパソコンに記録し、前記式場情報の中へ前記場外情報を加えて一連の結婚式情報とし、記録媒体に記録して取り出す結婚式記念品の制作方法。

【発明の詳細な説明】

【産業上の利用分野】この発明は結婚式の式場において、式の内容と式の当事者、すなわち花嫁花婿についての情報や、式に出席した招待客の情報を記録した結婚式記念品と、その制作方法に関するものである。

【0002】

【従来の課題】従来、結婚式場において、結婚式の様子を記録して残す場合、単式の情景を1台、または数台のビデオカメラによって撮影し、結婚式の終了後に編集して完成させていた。すなわち、各ビデオカメラ毎に得られた結婚式の画像を連結、あるいは削除して一連の記録とし、さらに、その結婚に係わる種々の情報を追加して編集し、図3で示すような内容を含む1巻のビデオテープ100としてまとめ、結婚式の記念品として制作する技術が用いられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、結婚式の終了後に、そこで得られた種々の情報を編集していたのでは、その編集や制作に時間がかかり、結婚式の熱気が随分頃にビデオテープが完成し納品されるといった不具合があった。また、編集に手間がかかり、制作コストを低減させることが難しかった。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記した課題は、物の発明として、結婚当事者の過去の行動を主として記した電子画像を含む場外情報と、結婚当事者の式場における挙動を主として記した電子画像を含む式場情報、および結婚当事者以外の第三者の式場における行動を主として記した電子画像を主とする第3者情報とを合成し、パソコンによって再生可能な一連の結婚式情報として構成した映像情報を含む記録媒体に記録させ、結婚式当日に配給することによって解決される。また、記念品の制作方法として、結婚式に先立って結婚当事者の過去の行動を主として記した電子画像を含む場外情報を準備し、式場

において時間的に継続して得られる当事者の式場情報をパソコンに記録し、前記式場情報の中へ前記場外情報を加えて一連の結婚式情報とし、記録媒体に記録して取り出すことによって解決される。

【0005】

【作用】ビデオカメラその他の撮像手段によって結婚式の進行とともに蓄積される式場情報と、招待客入場の場面など結婚当事者以外の第三者の式場における行動を記した第3者情報とを、結婚当事者の思い出など予め準備した場外情報をパソコンの内部で結合することにより一連の結婚式情報が生成される。その一連の情報は予め計算した必要容量をCD-ROM、DVDなどのデジタル記録手段へ記録することによって記念品が制作される。

【0006】

【発明の実施の態様】以下、本願発明の実施の一態様を説明する。図1中、10はこの発明に係る結婚式記念品である。結婚式記念品10は具体的には、透明なプラスチックで作られた化粧箱11の中に結婚式の様子を記録したCD-ROM、DVDなどのデジタル記録手段112を収め、さらに、前記化粧箱11の内面化粧紙113を収めたものである。なお、それらデジタル記録手段112に収められた内容と、印刷される化粧紙113とは、本願発明に係る制作方法によって制作されたものである。

【0007】デジタル記録手段112に記録される内容は、パソコン20によって、式の進行と同時に蓄積され、結婚式記念品10の制作が進行する。パソコン20の機部たる演算部はマイクロプロセッサ21と、指示してない記憶素子によって構成され、これにハードディスクHDDなどの記憶手段22が結合されて構成されている。その他にパソコン20には前記マイクロプロセッサ21に接続される入力手段としてデジタル受信機23、デジタルカメラ24、キーボード25等があり、また、出力手段としてCRT、液晶などのディスプレイ27、プリンタ28の他、DVD、あるいはCD-ROMドライブなどのデジタル出力手段が含まれる。

【0008】このようなパソコン20は結婚式場30に設置される。式場30は花嫁、花婿の当事者が座する正面座31と、招待客の座る招待客座32とが設けられている。33は式場への主出入口であり、式を主催する当事者が招待客を迎え入り送つた場所でもある。34は式場30の内部に複数台が設置されたデジタルビデオカメラであり、式場30内の様子を画像やオーディオ信号に変換し、電波によって前記デジタル受信機23へ送信する。

【0009】次に、結婚式記念品10の制作方法を説明する。まず、結婚式記念品10に収められるべき内容と記録される順序と、使用される情報機器の種類や内容が検討される。検討される内容には結婚式の当日、式場30に

において収録される情報と、予め準備される写真、ビデオなどの画像情報、音楽や人のメッセージなど声によって行われるオーディオ情報などが含まれ、後記される順序には結構式に先立って準備されるべき情報の種類や内容、およびそれを当日の式進行を記録する情報のどの部分に挿入するかを決定することが含まれる。また、結構式に先立って準備されるべき情報は、結構式の当日、当事者の思ふ出記録として、一部が会場に設置されたプロジェクト（投写機）によって、再現されるよう計画される。

【0010】図2は結構式記念品10に収めるべき内容と収録される順序とを後記された内容を示す。まず、結構式におけるすべての行事のうち、結構式記念品10に収めるべき事項が、式場情報Aとなる。これには、結構式と披露宴とを分けて行うことが慣行されている神式結構式の場合、その両方が含まれる。また、各当事者の過去の生活記録のうち、思い出として結構式記念品10に収めるべき内容が場外情報Bとされる。さらに、結構式に出席する招待客、すなわち、花嫁花婿以外の式場における行動のうち、予定されるいくつかのもの、例えば、招待客の入退場、来賓の祝辞、あるいは出席できなくなった招待客の挨拶画像などが第3者情報Cとされる。

【0011】よって、本発明制作手法によれば、結構式の当日、披露宴の会場が準備されると、花嫁花婿の当事者が式場の出入口において招待客を出迎えるとき、この様子が式場情報A、あるいは第3者情報Cとしてデジタルビデオカメラ3からデジタル受信機23へ送信され、記憶手段22へ蓄積される。そして、当事者が正面席31に着座し披露宴が始まると周知の通程で式が進行するが、その通程の全て、あるいは要部が式場情報Aとして、あるいは招待客の祝辞のような通程が第3者情報Cとして、それぞれ各デジタルビデオカメラ3からデジタル受信機23へ送信され、記憶手段22へ蓄積される。

【0012】宴の途中で、花嫁花婿が衣装替えのための幕を立つと、予め準備しておいた各当事者の過去の思い出、すなわち、生活の記録のような結構式記念品10に収めるべき内容として準備された場外情報Bの全部、あるいは一部が、会場に準備されたプロジェクトによってスクリーンへ投写され、同時に、これが記憶手段22へ送られ、式場情報Aの一部となる。

【0013】披露宴が終わりに近づき、当事者の両親が招待客にお礼を述べる場面が、近づいた時点で、それまでに蓄積された式場情報AをCD-ROM、あるいはDVDなどのデジタル記録手段12へ搬写し、さらに、式場情報Aの中から、披露宴中のハイライト部分、例えば、ウェディングケーキの刀切場面を取り出してプリンタ28によってカラー印刷し、それらを化粧箱11に収

めて結構式当日結構式記念品10として配給する。

【0014】なお、披露宴の記録作成がある段階で打ち切るが、披露宴が終了し招待客の退場を花嫁花婿が見送る場面まで、録音録画を継続することも自由であり、そのうちの当日記念品として配給できるところまでを採用する。また、式場情報Aは式場で行われた全てを記録する訳ではなく、予め、どの場面を収録するかを計画し、記録が冗長にならないようにすることが必要で、司会司の台詞と録切り時に間に合わないものの重複法の技法を採り入れるのがよい。

【0015】

【発明の効果】本発明によれば、結構式記念品を制作する過程では、デジタル機器を用い、予め予定した手順で記録され、記録された内容を必要なタイミングでデジタル記録手段へ搬写するだけで足りるから、録音録画の終了とともに結構式記念品の制作が完了する。また、結構式記念品を受け取った者も結構式の熱気の残りの間に、式を再現して見ることが可能となり、従来のビデオテープ方式に比して大きな感動を生むことができるなどの効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】結構式の平面図と、デジタルビデオカメラ、およびパソコンの構成を示す配置図である。

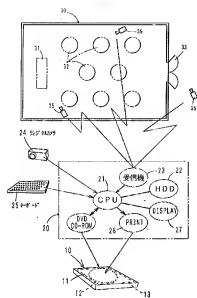
【図2】結構式記念品の内容を示す構成図である。

【図3】従来のビデオテープと、その内容を示す構成図である。

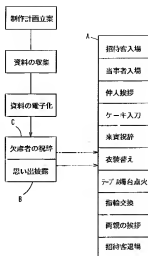
【符号の説明】

- 10・・・結構式記念品
- 11・・・化粧箱
- 12・・・デジタル記録手段
- 13・・・化粧ラベル
- 20・・・パソコン
- 21・・・マイクロプロセッサ
- 22・・・記憶手段
- 23・・・デジタル受信機
- 24・・・デジタルカメラ
- 25・・・キーボード
- 27・・・ディスプレイ
- 28・・・プリンタ
- 30・・・式場
- 31・・・正面席
- 32・・・招待席
- 33・・・主出入口
- 35・・・デジタルビデオカメラ
- A・・・式場情報
- B・・・場外情報
- C・・・第3者情報

【図1】



【図2】



【図3】

